

## 単元名

## じまんのマイタウン 「はつかいち もくもく調査隊」

～廿日市市のすばらしさを 伝えよう～

【関連のあるSDGsの目標】



## 【単元の目標】

自分たちで調べた廿日市市と木材の関係や歴史、産業について家族に伝える方法を考え、発信する活動を通して、課題を自ら見出し、課題解決に向けて主体的に活動する態度を育てるとともに、自分たちの住んでいる地域の一員として行動しようとする態度を育てる。

## 【連携諸機関・人物】

平良小職員・保護者  
市役所（教育委員会・シティ  
ープロモーション室）

## ◆学習活動の実際（全52時間）

## 学習活動

## 他教科等との関連

## 〈課題の設定〉

- ・前学年で行った総合的な学習の時間の学びを、児童が前学年に作成した新聞を基に振り返る場を設定した。児童は説明をしながらまだ十分に廿日市市と木材の関係について調べきれていないことに気づき、さらに調べたいことや疑問に思うことをワークシートに書き出した。
- ・児童から出た疑問を分類させたり、共通点を見つけさせたりして、単元を貫く課題を設定した。

じまんのマイタウン 「はつかいち もくもく調査隊」  
～廿日市市のすばらしさを 伝えよう～

1学期 はつかいちを もくもく調査しよう （24h）

## 〈情報収集① 身近な大人にインタビューする〉

- ・「なぜ、廿日市市は木の町と呼ばれているのか。」ということについて、平良小学校の教職員や、保護者にインタビューした。
- ・インタビューしたことを整理し、分かったことやさらに疑問に思ったことをまとめた。

- ・山が多い（地形）。
- ・木材港がある。
- ・宮島細工が木材で作られている。（ろくろ、しゃもじ、宮島彫り）
- ・けん玉が有名。
- ・宮島の大鳥居も木材でできている。
- ・廿日市市に木材の会社(ウッドワン)がある。など

## 〈情報収集② 本やインターネットで調べる〉

- ・インタビューで分かったことや疑問に思ったことを、本やインターネットを活用して情報収集をした。分かったこと、分からないことを整理し、ゲストティーチャーに質問したいことを考えた。

## 【社会】

「わたしたちの県の様子～地域の産業・伝統工芸」において、廿日市市の木について調べ、地域の自然環境や産業に関心をもちさせた。

**〈情報収集③ ゲストティーチャーの話を聞く〉**

- ・ 情報収集をするために依頼文を書き、ゲストティーチャーを招いた。
- ・ ゲストティーチャーの方から、廿日市市の木材の歴史や産業、木材の良さ（効果）などについての話を聞き、「なぜ、廿日市市は木の町と呼ばれているのか。」ということについて自分なりに考えを深めた。



＜廿日市市の木材についてゲストティーチャーから話を聞く＞

**2学期 はつかいち もくもく調査 発表会をしよう (28h)**

**〈分かったことを整理し、リーフレットを作成する〉**

- ・ 本やインターネットで調べたことや、ゲストティーチャーから聞いた話を整理し、どんな内容にするかを決め、割り付けを考えて(文章の内容や写真など)、リーフレットにまとめ、交流した。



＜児童が作成したリーフレット＞

**〈振り返り〉**

- ・ 学習の振り返りを行い、廿日市市の木材の歴史を受け継ぐ仕事に就いている人たちの思いにも触れながら、これからの自己の生き方について考えた。

**【国語】**

「メモの取り方をくふうして聞こう」で身に付けた、メモの取り方、情報の収集・選択を活用した。

**【国語】**

「ふるさとの食を伝えよう」で身に付けた、調べたことを理由や事例を挙げて書いたり、割り付けを考えながら作成したりする方法を、リーフレットにまとめる活動に活用した。

**【児童生徒の感想・振り返り】**

- ・ 廿日市市は宮島細工や大鳥居、けん玉など多くの物に木材が使われているということに気がきました。「木の町廿日市」の象徴である平良小学校の校舎の素晴らしさや、木材の歴史について自分が分かったことを広めていきたいと思いました。
- ・ 宮島のしゃもじは「日本一の木製しゃもじ」と言われていることが分かり、自分が住む市のことを誇らしく思いました。家族にも教えてあげたいです。

**【効果のあった「授業展開」または「指導の工夫」等について】**



**【児童生徒の変容】**

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「課題設定」の段階で、前学年で作成した新聞を基に調べたことを説明する場を設定した。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童は木材について理解していると思い込んでいたが、他の児童や教師からの質問に対して的確に答えられないもどかしさを感じるとともに、十分に調べきれていないことに自ら気づき、もっと深く調べたいという意欲を高め、見通しをもって活動に取り組むことができた。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題に対して、調べて分かったことや分からなかったことを整理・分析した上で、ゲストティーチャーに話を聞く場を設定した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べた知識が確かなものになったり、分からないことが明確にすることにより、質問する内容が深いものになったりした。</li> </ul>   |

**【今後に向けた「改善点」】**

- ・ 調べてまとめたことを、児童同士の交流のみで終わらせたため、他学年や地域の方など、発信する先や方法を工夫することで、より相手意識や目的意識をもってリーフレット作りに取り組めるのではないかと考えられる。

